

令和2年度主要施策のいくつかを紹介します。

新…新規 拡…拡充

誇れるまちへ

教育環境の充実

◇統合中学校建設事業 2億200万円 **新**
箕島中学校の敷地に統合中学校の校舎等を新築するための設計費用

新中学校の名称が決定しました

「有田市立 有和(ゆうわ)中学校」

「和歌山・有田市」という地名を連想するだけでなく、市内4中学校がひとつになり、和やかで豊かな学びのある学校であってほしいという願いが込められています。

◇学校図書購入事業 1,964万円 **拡**

学校司書の配置のほか、児童生徒一人あたりの図書購入費を増額し、読書環境の充実を図る



健康増進

◇市民水泳場管理運営事業 8,750万円 **新**

7月にオープンする屋内新水泳場「えみくるARIDA」の運営にミズノのノウハウを活用し、市民の健康増進とスポーツ振興を図る

◇新都市公園整備事業 2億1,800万円 **新**

市民の健康増進に寄与し、交流の場所となる総合運動施設をめざしてえみくるARIDAに併設した新都市公園を整備



※えみくるARIDAについて、P.11 もあわせてご覧ください。

安全安心

◇市民体育館空調設備整備事業 1億679万円 **新**

エアコンを新設し、避難施設としての機能の向上と、体育施設としての安心で快適な利用環境を整備

◇デジタル防災行政無線施設整備事業 7,932万円 **新**

デジタル化整備による迅速かつ的確な広報を行うことで、市民の安心安全の提供を図る

アクティブなまちへ

誇りある産業を次世代へ

◇活気あふれる箕島漁港プロジェクト 910万円 **新**
4月末にオープンする新鮮市場「浜のうたせ」のPR費用などに補助を行い、新たな人の流れの創出と地域産業の振興を図る

◇原産地呼称管理事業 696万円 **拡**
公的部門が認定・管理することで、消費者に安心・信頼を与え、有田みかんのブランド力向上をめざす

◇地域ブランド推進事業 744万円 **拡**
特産品の販売促進、市内事業所の自立的な販路拡大支援

◇地域特産品等広報事業 15億7,500万円 **拡**
ふるさと応援寄付金制度を活用して地域特産品の知名度向上、販路及び消費の拡大を図る



モテるまちへ

観光振興、イノベーション創出

◇観光施設整備事業 2,100万円 **新**
地ノ島に完全自己処理型のトイレを設置し、来島者の満足度等の向上を図る

◇三世代定住等支援事業 500万円 **拡**
子ども世帯が親世帯と同居・近居することを促進するため、住宅取得等の費用に補助を行う

◇移住交流促進事業 829万円 **拡**
移住交流拠点施設「くらしちやる矢櫃」を活用した事業等を実施するとともに、観光ビジネスプランを策定し、矢櫃地区の交流人口及び移住者の増加につなげる



— 令和2年度当初予算 —

未来につながる2つの投資

まちの魅力と活力を生み出す投資
持続可能な自治体経営への投資

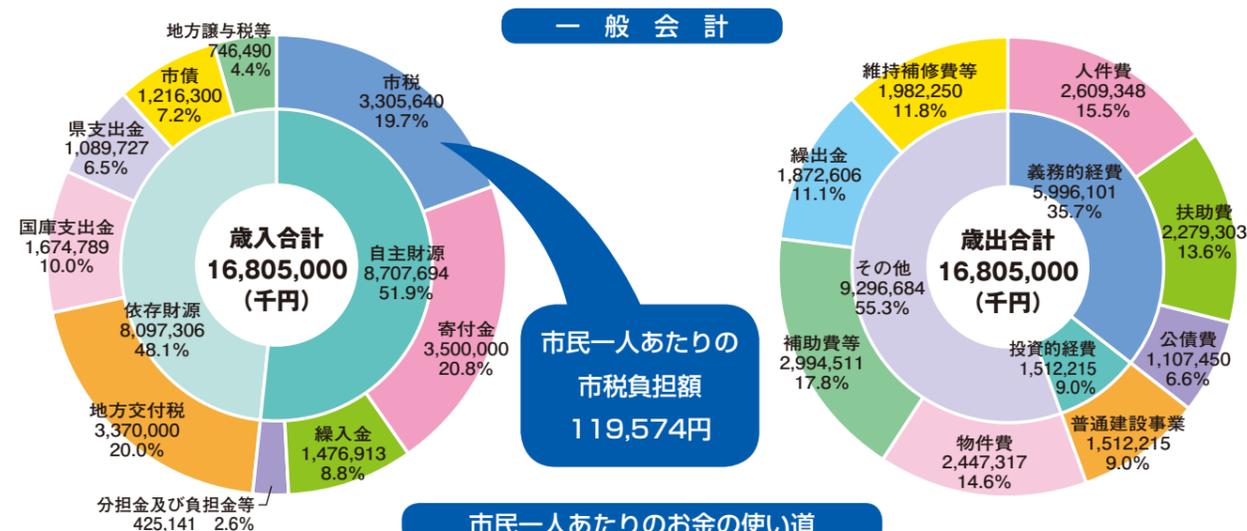
一般会計予算額

168億500万円

特別会計 83億9,793万円

企業会計 41億8,231万円

主な会計である一般会計の予算規模は、前年度比32億6,300万円(24.1%)増の過去最大となる168億500万円です。特別会計と上水道及び病院事業会計とを加えた総額は、31億3,015万4千円(11.9%)増の293億8,524万円となります。



市民一人あたりのお金の使い道



※「市民一人あたりの市税負担額」および「市民一人あたりのお金の使い道」は令和2年3月1日の市の住民基本台帳登録人口数(27,645人)で除して算出しています。